



# Arcserve Unified Data Protection 9.x

## 新機能/拡張機能のご紹介

2024年10月  
Arcserve Japan

arcserve®

Rev 3.5

© 2024 Arcserve. All rights reserved

# Arcserve UDP 9.x の特長



- ✓ セキュリティ・ランサムウェア対策強化
- ✓ 管理機能の拡充
- ✓ データベースバックアップの強化

# Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介

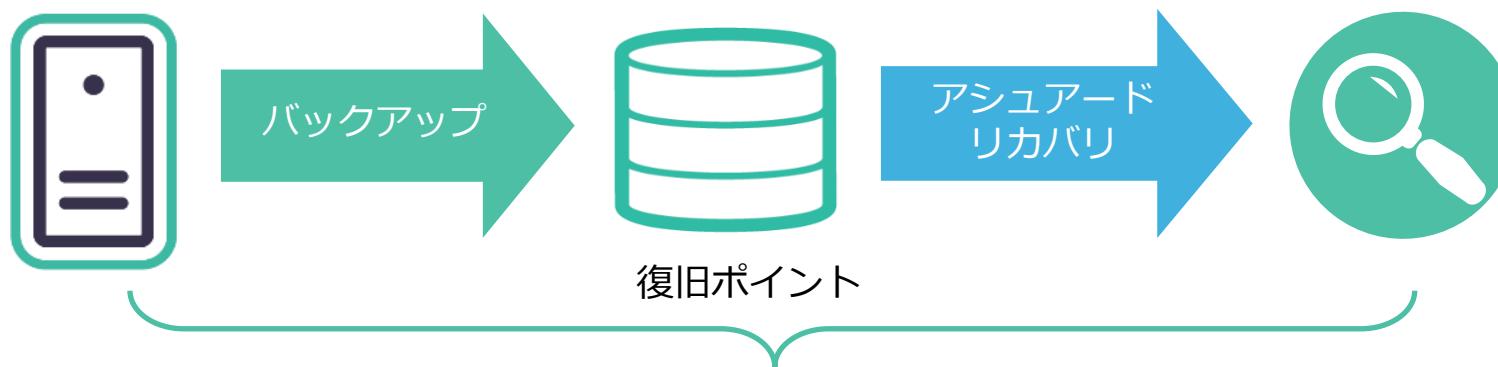


セキュリティ・ランサムウェア対策の強化



# アシュアード リカバリ：バックアップデータの健全性を自動確認

バックアップデータがリストア可能であることを手間をかけずに自動で確認  
Arcserve UDP 9.0 からは標準機能として Advanced Edition で利用可能に



バックアップとレプリケート  
後のデータを確認

手動、もしくは曜日・時間  
を指定して実行

確認結果を  
メールで通知

# アシュアード リカバリ：復旧ポイントを確認する2つの方法



## インスタントVM方式



インスタントVM

本番ネットワーク  
とは分断して起動できる！  
確認用ディスク スペース  
は不要！

### [確認できるポイント]

- ・システムが起動可能か？
- ・サービス実行が可能か？
- ・アプリケーション サービスの整合性は取れているか？  
(カスタムスクリプトを利用)

### [利用条件]

- ・インスタントVMの実行条件を満たす物理/仮想OSを含むバックアップ
- ・インスタントVMの仮想基盤は vSphere / Hyper-V / AHV (Linux VM のみ)

## インスタント仮想ディスク方式



インスタント仮想ディスク

仮想環境不要！  
確認用ディスク  
スペースも不要！

### [確認できるポイント]

- ・ファイル システムの整合性が取れているか？
- ・ディスクに破損はないか？  
✓ chkdsk による確認も可能
- ・特定ファイルの読み出しが可能か？  
(カスタムスクリプトを利用)

### [利用条件]

- ・Windows のデータ ボリューム、共有フォルダ、Microsoft 365、Oracle RMAN のバックアップ

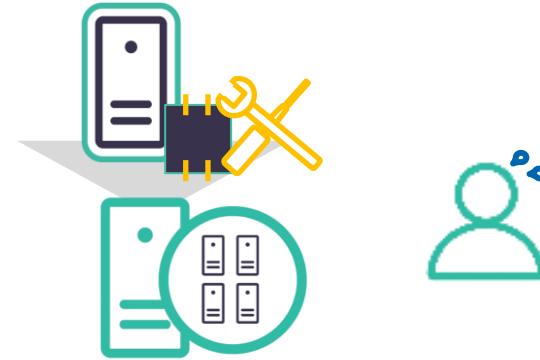


# BitLocker で暗号化された VM を暗号化されたまま復旧

エージェントレス バックアップしたVMの、仮想化された TPM\* (vTPM) の復旧が可能に

※ TPM…Trusted Platform Module – BitLocker や Windows Hello などで使われる、暗号 USB メモリ キーや生体認証デバイスなどと連携するセキュリティ チップ

Before :



VM の復旧後に vTPM の設定をしなければいけないので大変！

After :



OK !

暗号化されたまま VM を復旧！

以下でご利用可能です

- VMware vSphere 環境
  - 「VM の復旧」
- Microsoft Hyper-V 環境
  - 「VMの復旧」、仮想スタンバイ、インスタントVM



## その他のセキュリティ向上

- 電子メール アラートで Gmail または Microsoft 365 を使用する際、先進認証 (OAuth 2.0) を使用可能に

電子メールの設定

サービス: Google メール

電子メール サーバ: smtp.gmail.com

ポート: 587

認証が必要

認証タイプ: OAuth2

クライアント ID: (empty)

クライアント シークレット: (empty)

件名: Arcserve Unified Data Protection アラート

※設定の詳細はソリューションガイドの以下ページをご参照ください。

[Gmail のための OAuth 2.0 認証を設定する方法](#)

[Office 365/Outlook メールのための OAuth 2.0 認証を設定する方法](#)

- ランサムウェア対策に使用する “隠しボリュームを使用した RPS データストア”\* に対して整合性チェック機能 “as\_gddmgr.exe” コマンドが利用可能に

※詳細は [「Arcserve UDP 8.x 新機能/拡張機能のご紹介」](#) をご参照ください。



## 管理機能の拡充



# 手動ジョブによる復旧ポイントの残存(1) : Arcserve UDP 8.x 以前

【課題】 Arcserve UDP 導入時に動作確認などで手動バックアップを実施していると、  
 その復旧ポイントが運用に不要であったとしても残存してしまう

UDP導入

↓手動バックアップ  
手

本日  
日次7世代  
日 日 日 日 日 日 日

最初の手動フルを起点としたバックアップデータを維持  
⇒運用に不要なバックアップデータが残存

バックアップ種別	復旧ポイント保持数 デフォルト
毎日	7
毎週	0
毎月	0
カスタム/手動	31

最小は 1  
“0” にはできない

従来はこれを 1 にして、  
定期的に手動バックアップすることで  
運用に必要なバックアップのみを維持

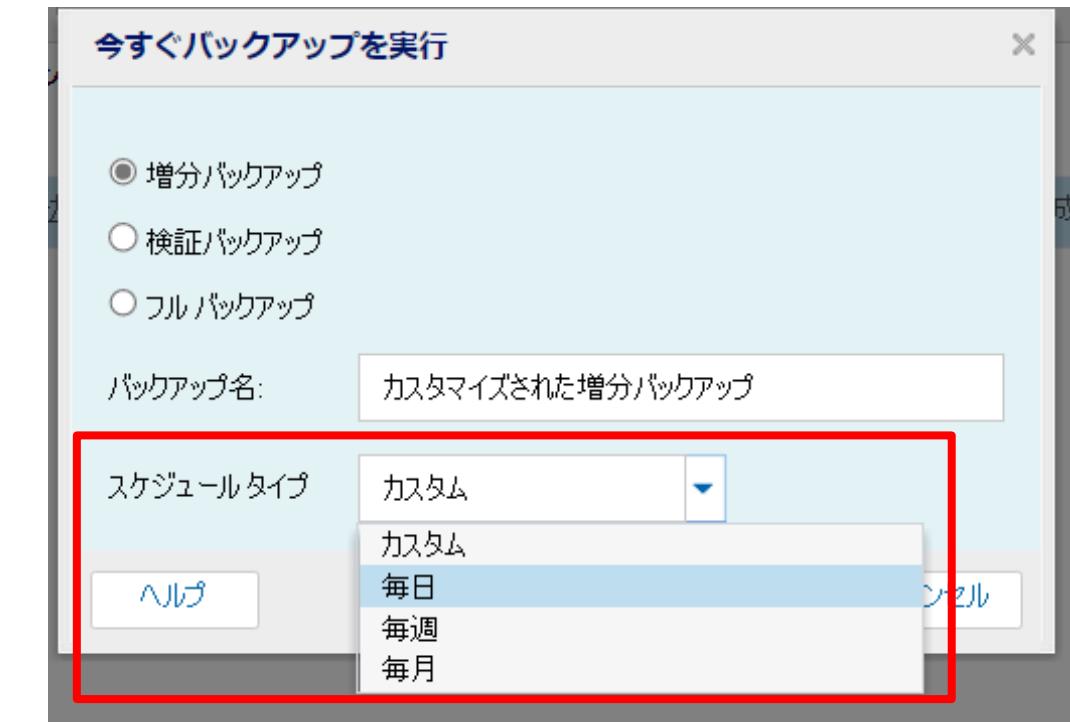
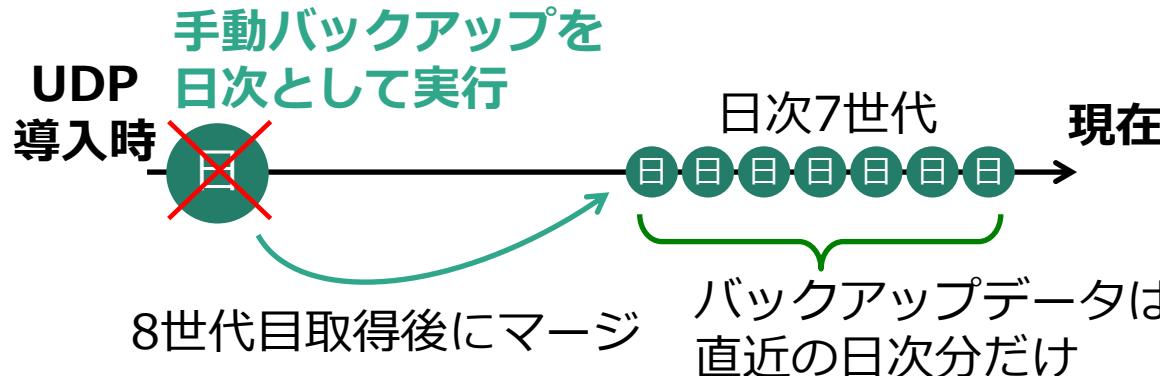


Arcserve UDP 9.0 以降では、この復旧ポイント残存を“回避”、“解消”することが可能に！

# 手動ジョブによる復旧ポイントの残存(2) : スケジュール タイプの指定



手動バックアップをスケジュール バックアップ扱いにすることで残存を“回避”



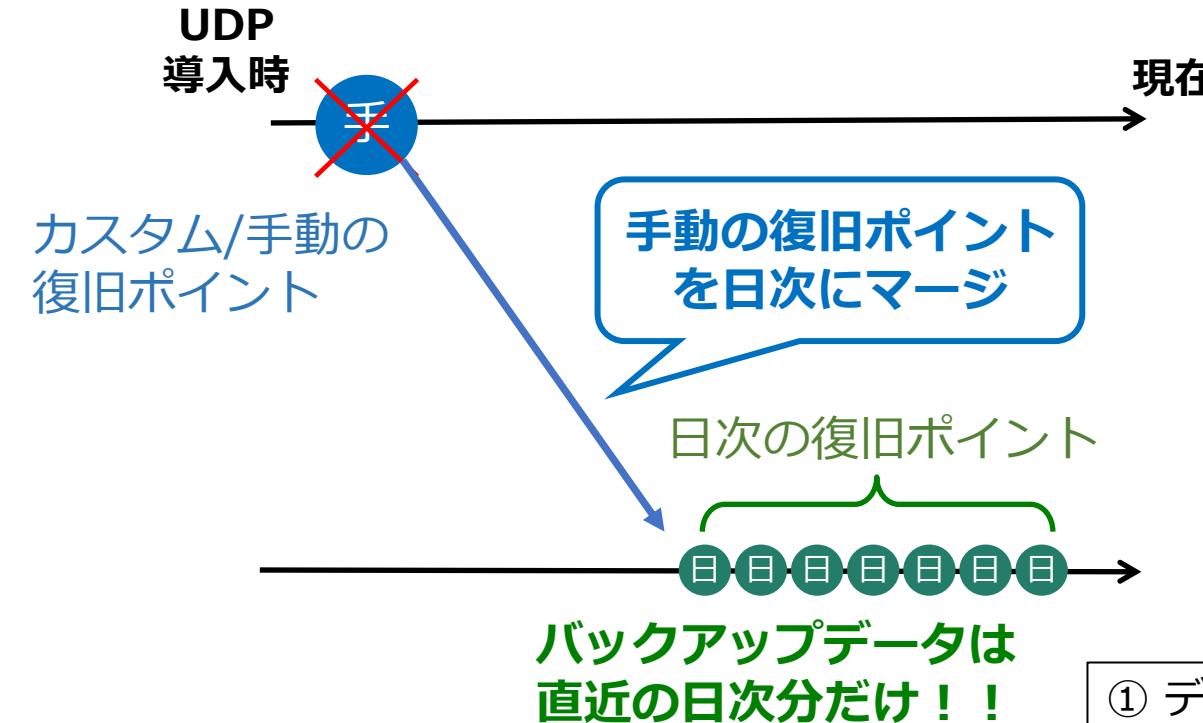
手動バックアップを  
スケジュール扱いで実行



# 手動ジョブによる復旧ポイントの残存(3)：復旧ポイントの整理

## 手動バックアップの復旧ポイント保存数を“0”でマージすることで残存を“解消”

※こちらは RPS 利用時ののみの機能となります。



① データストア内に見えてくるノードに対して「今すぐマージ」

② カスタム/手動の復旧ポイントの保存数を“0”に指定可能

今すぐマージを実行

ノード名	毎日	毎週	毎月	カスタム/手動
udp-svr	7	0	0	1

日単位の復旧ポイントの保存: 7  
 週単位の復旧ポイントの保存: 0  
 月単位の復旧ポイントの保存: 0  
 カスタム/手動の復旧ポイントの保存: 0

OK キャンセル ヘルプ

# Arcserve UDP コンソール アクティビティログの全メッセージにIDが付与

## トラブル シュートに活用可能



arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION

メッセージ (1) administrator ヘルプ

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

重大度: すべて ノード名: ジョブ ID: ジョブの種類: すべて 時刻: すべて 生成元: メッセージ: メッセージ ID: メッセージ

更新 リセット エクスポート 削除

重大度	時刻	サイト名	ノード名	生成元	ジョブ ID	ジョブの種類	メッセージ ID	メッセージ
!	2022/12/07 18:13:12	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp			20184	ネットワーク アダプタ変更が検出されました: [Intel(R) 82574L Gigabit Network Connection #2] メディアが切断されました。
!	2022/11/29 10:55:14	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80727	マルチ バックアップ ジョブ タスクのサブミット - 1 個のバックアップ ジョブがサブミットされました。1 個のバックアップ ジョブが正常にサブミットされました。
!	2022/11/29 10:55:14	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp			80726	バックアップ ジョブのサブミット - Arcserve UDP エージェント バックアップ ジョブが正常にサブミットされました。
!	2022/11/29 10:55:13	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80727	マルチ バックアップ ジョブ タスクのサブミット - 複数のバックアップ ジョブのサブミット タスクが開始しました。1 個のジョブがサブミットされます。
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80419	プラン "ローカル サイト-新規のプラン" が正常に作成されました。
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp			90425	プラン "ローカル サイト-新規のプラン" をノード 'udp-svr.arcserve.jp' に対して展開して
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				
!	2022/11/29 10:55:04	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				
!	2022/11/29 10:54:55	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				
!	2022/11/29 10:54:55	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				
!	2022/11/29 10:53:24	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				

検索結果

Consolidated Knowledge Types

2 件の結果・並び替え基準 関連 ▾

警告 ID: 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナ...  
000015036

◆ 概要 本文書では ID : 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を

VMware 仮想マシンのエージェントレス バックアップ実行時にエラー コード 3033 の警告が記録される  
000003552

入力して「OK」ボタンを押します。 ◆ 関連情報 警告 ID : 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナップショット方式

Arcserve サポート ポータル  
で ID を検索して情報収集



# “未完了”ジョブステータスの追加と条件設定(1)：未完了の追加

## ジョブ内でスキップされたソースがあつた場合などを的確に把握

従来は、ジョブ内で警告メッセージが記録されてもジョブ全体は「完了」と表示されたため、対処の必要性に気づきにくかった

⇒ 「完了」と「失敗」の中間のステータスとして「未完了」を追加

### ジョブのステータス

- ・ [完了] ジョブの処理中に特定の警告メッセージは出力されなかった。後続の処理は実行される
- ・ **[未完了]** **ジョブの処理中に特定の警告メッセージが出力された。後続の処理は実行される**
- ・ [失敗] ジョブの処理中にエラーが発生した。後続の処理は実行されない

アクション	ノードの追加	フィルタ	環境設定ウィザード
	ステータス ノード名	VM名	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	! udp-svr		最新のジョブ(タスク別)
<input type="checkbox"/>	! win-agt		バックアップ(フル) 2022/12/14 10:28:38
			未完了
			最近のイベント ログの表示

アラート通知やレポートとも連携

ジョブアラート	<input type="checkbox"/> ジョブを実行できない場合
	<input checked="" type="checkbox"/> バックアップ、レプリケーション、カタログ、ファイルコピー、リストア、または復旧ポイントのコピー ジョブが失敗/クラッシュ/キャンセル/未完了になった場合
	<input type="checkbox"/> バックアップ、レプリケーション、カタログ、ファイルコピー、リストア、または復旧ポイント コピー ジョブが正常に完了した場合
	<input type="checkbox"/> マージ ジョブが停止、スキップ、失敗、またはクラッシュした場合



# “未完了”ジョブステータスの追加と条件設定(2)：条件設定

軽微な警告に煩わされないようにするために、未完了となる条件を変更できる

以下ファイル内の警告メッセージをコメントアウトすることで、ジョブが未完了になる条件を変更

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Configuration\IncompleteStatus.ini

```
[Warnings for IncompleteStatus]
[UNC/NFS and Nutanix Files Backups]
20029 #Skipping file [{file_path}]. It is part of the current backup session.
20170 #Skipped some files/directories, other than Symbolic Links/Mount Points skipped from backup. For details, refer to the backup log file.
20402 #Unable to read file:{[file_path]}.
20408 #Unable to read file:[{file_path}]. Error: [{error_message}].

[WRP related Warnings]
20106 #Data inconsistency found in recovery point [{session_number}], the next job will be converted to a verify backup job.
```

[参考 : Arcserve UDP 9.x ソリューションガイド – 未完了のバックアップ ジョブ ステータス関連](#)



# Arcserve UDP コンソール レポートの強化

## 「バックアップ成功率レポート」の追加 – 各ノードの日次/週次/月次の成功率を確認

管理画面レポート	ノード名	プラン名	RPS	データストア	日単位の成功	週単位の成功	月単位の成功
バックアップ成功率レポート	udp-srv.arcserve.jp	ローカル サイト-新規	udp-srv.arcserve.jp	DS1	100.00%	N/A	N/A
データ分布 メディアのデータ分布レポート サービス レベル アグリーメント	win-agt	サイト2-新規のプラン	udp-srv.arcserve.jp	DS1	N/A	N/A	N/A

## 「ジョブステータス レポート」に日付範囲フィルタを追加

ジョブステータス レポート

フィルタ/アクション

ノード名	<input type="text"/>	<input type="radio"/> 過去	<input type="text"/> 日
ジョブの種類	<input type="text"/> すべて	<input checked="" type="radio"/> 日付範囲	<input type="text"/> 2022/12/13 <input type="button"/> <input type="text"/> 2022/12/19 <input type="button"/>



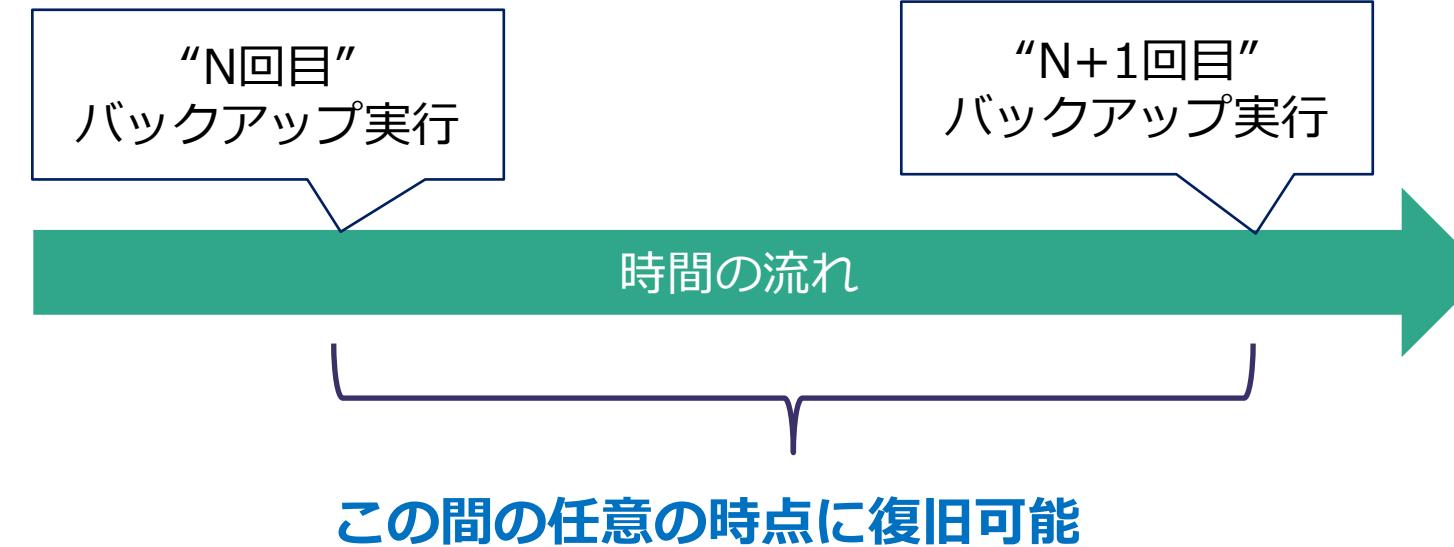


## データベース バックアップの強化



# Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧

## Point-in-time ( PIT ) 復旧とは



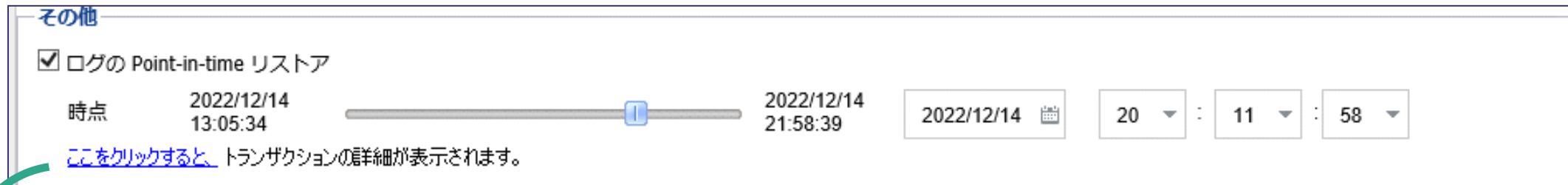
### 前提条件

- ・バックアップ実行前に、Point-in-time を有効化する必要あり
- ・エージェント経由でバックアップ
- ・2つ以上の復旧ポイントが必要



# Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧 - 設定画面

スライドバーやカレンダーで復旧したい時点を簡単に指定できます！！



その他

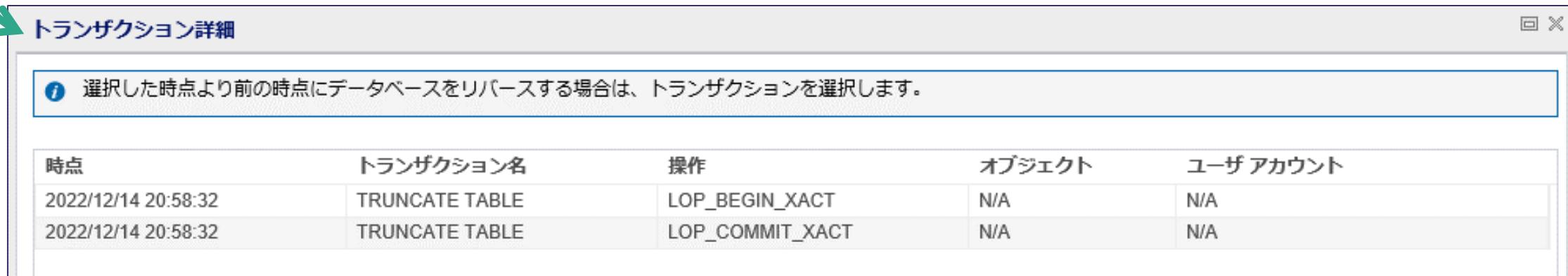
ログの Point-in-time リストア

時点 2022/12/14 13:05:34 ————— 2022/12/14 21:58:39

2022/12/14 20:11:58

ここをクリックすると、トランザクションの詳細が表示されます。

更にトランザクションの詳細も確認可能！



トランザクション詳細

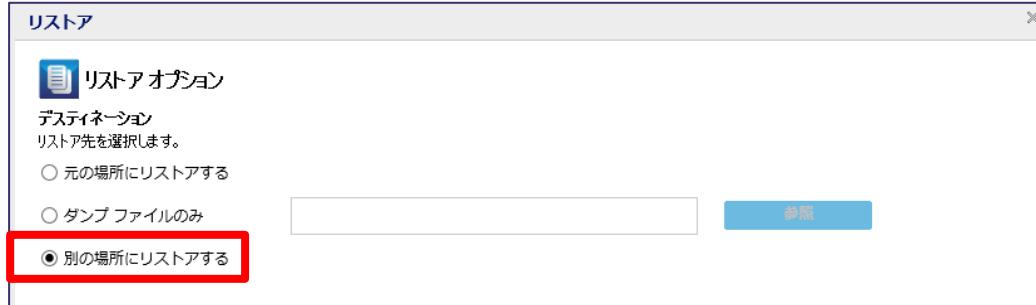
選択した時点より前の時点にデータベースをリバースする場合は、トランザクションを選択します。

時点	トランザクション名	操作	オブジェクト	ユーザ アカウント
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_BEGIN_XACT	N/A	N/A
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_COMMIT_XACT	N/A	N/A



# Microsoft SQL復旧機能の強化：別なインスタンスへのリストアが可能に

別の場所へのリストアが可能に、  
データベースごとにインスタンスと名前を設定可能

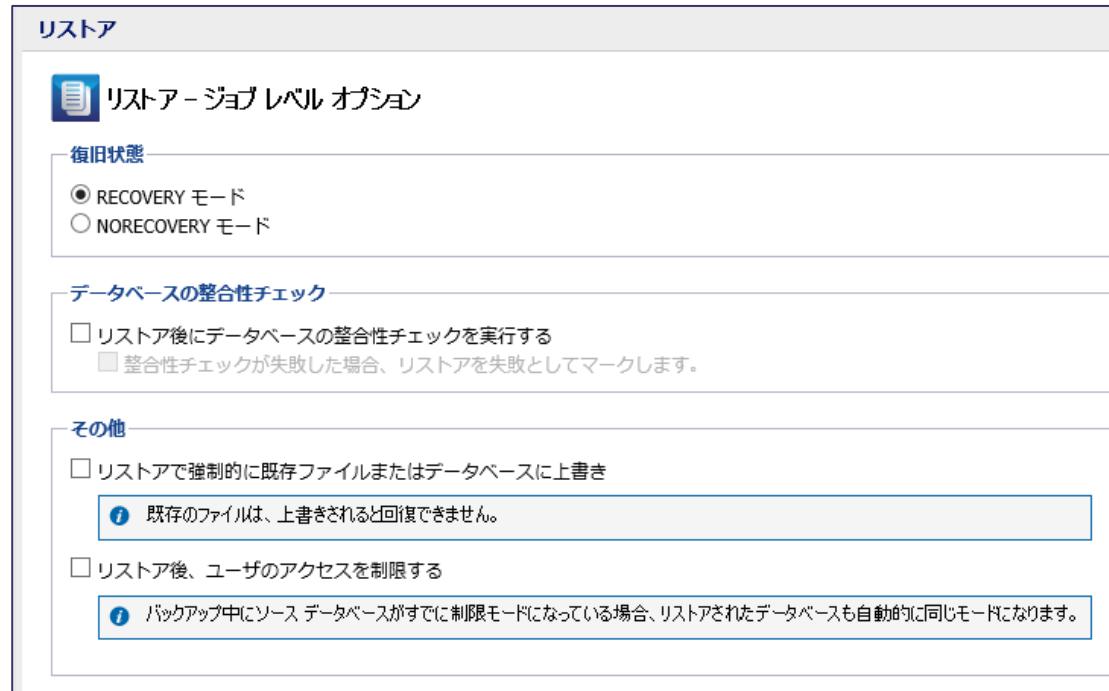


リストア先のインスタンス名を変更することで、  
クラスタ構成のリストア設定が可能

# Microsoft SQL復旧機能の強化：復旧方法を詳細に、事前のサイズ確認も可能



「復旧状態」の指定や「データベースの整合性チェック」など詳細な設定が可能に



リストア前にデータベースのサイズを確認できる

リストア

リストアオプション - 元の場所

インスタンス名	データベース名	サイズ	追加オプション
MSSQLSERVER	master	7.38 MB	<input type="button" value="設定"/>
MSSQLSERVER	model	16.00 MB	<input type="button" value="設定"/>
MSSQLSERVER	msdb	21.31 MB	<input type="button" value="設定"/>

# Oracleデータベースの RMAN 対応

Premium /  
Premium Plus

## Windows / Linux 上の Oracle データベースを Recovery Manager (RMAN) でバックアップ/リストア・リカバリ



エージェントレスで  
データベースを保護

Point in Time, SCN,  
ログシーケンスを  
指定してリカバリ

アシュアードリカバリで  
整合性の確認可能

※ 日本では、Oracle RAC 環境は非サポートとなります

# Oracleデータベースの RMAN でのバックアップ<sup>®</sup>

Premium /  
Premium Plus



GUI で簡単設定、アーカイブログの削除も設定可能！

プランの追加

ローカル サイト-新規のプラン  このプランを一時停止

タスク1

タスクの追加

タスクの種類

タスク タイプの選択

バックアップ: Oracle データベース

バックアップ: RMAN または NFS パス上のフ...  
バックアップ: エージェントベース Linux  
バックアップ: エージェントベース Windows  
バックアップ: ホストベース エージェントレス  
リモートで管理されている RPS からレプリ...

設定はプラン内のタスクとして追加

データベースの追加

UDP-SVR  新規データベースの追加

Oracle DB ユーザ名 ユーザ名 パスワード パスワード

保護されているアイテム\*

データベース (データファイルと表領域を含む)  パラメータ ファイル  制御 ファイル  アーカイブ ログ

!! データベース アーカイブ ログ モードを有効 (ON) にする必要があります。無効化すると、バックアップ処理は失敗します。詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

!! バックアップする前にデータベースが OPEN 状態であることを確認します。

オプション(O)

バックアップが成功した後、ソース データベースからアーカイブ ログを削除

チャネル番号 1

ソース データベースでのブロック チェンジ ロギングの有効化  ソース データベースでのブロック チェンジ ロギングの無効化

注: この機能は、Enterprise Edition (EE) でのみサポートされています

追加 クリア

ヘルプ 前に戻る 保存 キャンセル

バックアップ取得後のアーカイブログ削除の選択、チャネル数、チェンジ ブロック ロギング※の利用も指定も可能

※ Oracle Database Enterprise Editionのみサポート

# Oracleデータベースの RMAN でのリストア・リカバリ

Premium /  
Premium Plus



リストア・リカバリも GUI で簡単実行！リストア後、任意のリカバリも実行可能

日付の選択

12月 2022

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

今日

指定期間

0:00 - 6:00  
6:00 - 12:00  
12:00 - 18:00  
18:00 - 0:00 (1)

データベース名: orcl

リストアするアイテムの選択

A.. 時刻 種類 バックアップ 名前の種類

22:00:01 毎日 増分

リストア後、マウントモードで起動  
リストアデータから任意のリカバリを実行可能

リカバリ タイプ

復旧なし  データベースの切り替え

すべて復旧

Point In Time

SCN の終了まで

ログ シーケンス番号まで

バックアップ時点、  
復旧ポイント間の任意の時点へ、  
不完全リカバリ



## 対応環境の拡張と注意事項



# 新対応プラットフォーム/アプリケーション

## プラットフォーム / アプリケーション

- **VMware vSphere 8.0, 8.0 Update1** ※1, **Update2** ※2
- **Nutanix AHV (AOS) 6.5.x** ※3
- **Nutanix Files 4.2, 4.3** ※2, **4.4** ※2
- **Microsoft SQL Server 2022** (バックアップ対象および Arcserve UDP コンソールの DBとして)
- **UEFI Windows ブート サーバのAzure への仮想スタンバイ サポート** ※4

※1 Arcserve UDP 9.1 以降でサポート

※2 Arcserve UDP 9.2 以降でサポート

※3 Arcserve UDP 9.0 ではパッチ [P00002803](#) の適用が必要です。

※4 Azure 上では第 2 世代の VM として作成されます。



# 新対応プラットフォーム/アプリケーション (Linux)

Linux OS Support	OS Version	Backup Server	Backup Client	インスタン VM	BMR
Red Hat Enterprise Linux	8.8 - 8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1	○	○	×	×
AlmaLinux	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Rocky Linux	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Oracle Linux (RHEL 互換)	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Oracle Linux (UEKのみ)	8.2-8.6, 8.8-8.10 ※1 UEK R3 - R7	○	○	○	○
	9.0 UEK R7 ※1※2	○	○	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 15	SP4 , SP5 ※1	△※3	○	△※3	○
Debian ※4	10.13, 11.2-11.5	○	○	○	○
Ubuntu	LTS Server 22.04	○	○	○	○

※1 「RHEL系の8.8-8.10, 9.1-9.3」「Oracle Linux UEK 8.8-8.10」「SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5」は Arcserve UDP 9.2 以降でサポート

※2 「RHEL系の9.0」は Arcserve UDP 9.1 以降でサポート

※3 SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 のみサポート、SP5 は未サポート

※4 EFIファームウェアでセキュアブートが有効化された Debian 11.x を Arcserve UDP 9.2 では未サポート



## 注意事項

- Arcserve UDP 9.0 から、トライアル版（評価版）で Microsoft 365 のバックアップを行うにはライセンス キーの適用が必要になります。トライアル申し込み時にライセンス キーを記載した電子メールをお送りしますので、プランの作成前にライセンス キーを適用してください。

また、製品のライセンスキーでも Microsoft 365 については別にキーが発行されます。

- Cloud Console による Arcserve UDP の管理は日本では未サポートです。



## 価格

# 価格：永続（ペーペチュアル）ライセンスとサブスクリプションから選択可能



エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス
Advanced Edition	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Premium Edition	—	—	¥258,000 (¥283,800)	¥438,000 (¥481,800)
Premium Plus Edition	—	—	¥386,000 (¥424,600)	¥654,000 (¥719,400)

エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Premium Edition	—	—	¥87,000 (¥95,700)	¥435,000 (¥478,500)
Premium Plus Edition	—	—	¥131,000 (¥144,100)	¥655,000 (¥720,500)

エディション	容量単位 (1TB)		容量単位 (1TB)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥784,000 (¥862,400)	¥1,312,000 (¥1,443,200)	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Premium Edition	¥1,305,000 (¥1,435,500)	¥2,181,000 (¥2,399,100)	¥255,000 (¥280,500)	¥1,275,000 (¥1,402,500)
Premium Plus Edition	¥2,289,000 (¥2,517,900)	¥3,817,000 (¥4,198,700)	¥382,000 (¥420,200)	¥1,910,000 (¥2,101,000)

※メンテナンスは3年、4年もございます。インストールメディアは別売です。金額は税抜きで、括弧の中は税込みです。  
※アカデミック用など記載のないライセンスは " <https://www.arcserve.com/jp/licensing-options> " を参照下さい。

# お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト：[www.arcserve.com/jp](http://www.arcserve.com/jp)  
カタログセンター（カタログ、技術資料）

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト（購入前のお問い合わせ）

例：「この構成で必要なライセンスを教えてください」、  
「Arcserve UDP はXXXに対応していますか？」、  
「XXXはサポートされますか？」



フリーダイヤル：**0120-410-116**

（平日 9:00～17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム：<https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>

# arcserve®

arcserve Japan合同会社

[arcserve/jp](https://arcserve.jp)

